

令和5年度第5回滝沢市上下水道事業経営審議会議事録

I 日 時 令和6年1月23日（火）13時25分～15時30分

II 場 所 滝沢市役所分庁舎 第6会議室

III 出席者 上下水道経営審議会委員出席7名

【滝沢市上下水道事業経営審議会委員】

山田一裕委員、田村武委員、山口孝委員、齋藤誠司委員、関晴恵委員、熊谷稔委員、新田育夫委員（※欠席2名 田村康樹委員、赤塚貴史委員）

【滝沢市】

上下水道部 部長 及川竜悦  
水道総務課 課長 小林純子、総括主査 高橋竜也  
水道整備課 課長 角掛雄一、総括主査 長谷川唯倫、総括主査 林野和恵  
下水道課 課長 村上斉、主幹 五十嵐淳、副主幹 伊藤圭晃、  
総括主査 黒澤滋、主査 高山隼輔、主事 庄司翔太

IV 次 第

1 開会

2 挨拶

上下水道部長挨拶

3 議事録署名人の指名

会長より、議事録署名人に齋藤誠司委員、熊谷稔委委員を指名した。

4 議事

(1) 審議事項

以下の審議事項について事務局から説明し、これに対し質疑応答があった。

ア 「滝沢市下水道事業経営戦略及び汚水処理施設概成アクションプランの改正に関する答申（案）について」（下水道資料1）

【田村委員】2ページ（2）「今後の財源についての考え方・検討状況」で、先ほど国が示す繰出基準に基づくと書いてあるところを繰入基準とされた気がしますが、書いてある方が正しいか。

【下水道課長】書いている方が正しい。繰出基準です。

【熊谷委員】2ページ（1）、「また」から「現在の下水道施設使用者と今後の使

ユーザーとの間に公平なものとなるよう、改築費用の平準化などを図られたい。」とあるが、今は、平準化がなされていないということか。どのような状態で公平になっていないのか、教えていただきたい。

【下水道課長】現状においては、まだ耐用年数がきている管渠が、滝沢市には現在ない。それらの改築更新費用については、現在の使用状況の中からは、出ていないという状況。ある程度平準化を図らなければならないという状況というのが、今から将来にわたって、大体これぐらいのコストがかかるというものを見定めて、料金をどうするというのは平準化というような考え方になるが、今の状況はあくまでも、改築なり更新が必要になった時点において財政がどうだから、料金をどうしていこうという考えが今の基本。今後に関しては、公平になるよう、その改築する計画なり投資の中でも意見としていただくことになるが、計画を立てた上で平準化するようにしなければ、急激な料金の増減が発生するので経費を考えて下さいという意見を入れたもの。

【熊谷委員】答申案の修正ということではなく、公平になるようにするというのは、今のままで行っていると、公平化が図られないということと感じているところ。

【下水道課長】現段階において、公平ではないという部分に関しては、まずは今段階においては、管の耐用年数が来ていないということから、抜本的な改築や更新というものを行っていないので、事業自体が具体的には行われていない状況。ただし、大体あと10年後から15年後ぐらいになるかと思うが、その頃に、最初に整備した下水管などが耐用年数を迎える。その頃から急激に更新・改築が始まるので、その段階で、料金自体をある程度上昇しておかなければ、急激にそこで上昇させなければならないという形になることから、公平感がなく、その時点の人達だけ、高く料金を設定されてしまうという不公平感に繋がるのではないかと考えているところ。

【熊谷委員】要するに、新しい人と前から使っている人とで同じぐらいの負担で済む。前から使っている人達は10年前から使っていたのだから、その部分も加算されているのではないかと、という意味での公平さと捉えてよいか。

【下水道課長】考え方として、捉え方は間違いではない。

【齋藤委員】1ページ(2)「財源について」の「経費回収率」について、ここを含めて何ヶ所あり、表現が「経費回収率は現在、100%を下回っている」とあるが、今の数字として出ているのが令和4年度の数字であるから、厳密には「現在」という言葉が適切かどうかということと、もしよければきちんと正確に「令和4年度における経費回収率は99.5%」というように、記載をした方がよろしいかと思う。

【下水道課長】令和4年度という形での修正を加えさせていただきたい。

【齋藤委員】1ページ(3)「投資以外の経費について」の最後の方に「民間活力の活用」という言葉がある。民間活力に関しては他のページにも何ヶ所か出ているが、市の下水道事業での民間活力というのはどういったものを考えられているのか。

【下水道課長】まずは管渠等の維持管理についても、大分、資金においては民間活力を用いて包括委託しているような場合もある。現在、PFIなりPPPという形での民間活力導入が公共下水道の方でも広く見直されてきているところで、今後については、施設のみならず、様々な面での維持管理等に関しての民間活力導入を検討する必要があるものというように捉えているが、これに関して効果があるかないかについては、やはり検討の中で十分検証しなければならないと考えている。

【齋藤委員】それであれば、いきなり「活用を検討」するのではなく「活用方法の内容を研究する」とした方が、よろしいのではないかなと思う。

【山田会長】そうすると、例えば最後の文言「民間活力の活用内容を検討されたい。」程度か。事務局よろしいか。

【下水道課長】承知した。

【新田委員】答申というのは、滝沢市長に対して行いますという形のもので、審議の結果、文章の最後に「検討されたい」、「図られたい」、「進められたい」とある。これは市長に「図られたい」ということなので、「下水道の答申を図る」とか、何かそういう言葉ではないのか。

【下水道課長】答申書になることから、この委員会が市長に対して、こうしてくださいという内容になることから、「図られたい」とか、市長に対し何々をしてくださいとか、そういった内容の記載にしているのは、そのため。これは、昨年、令和5年10月23日に意見を下さいという形で、市長から諮問を受けたものについて意見を返す必要に対して、基本的には委員の皆様方から、こういうようにして欲しいというものを出すというものになる。

【新田委員】市長は、市議会でそれを諮るのか。議会で決めるのか。

【下水道課長】最終的に、この意見を受けて経営戦略というものを改正し、付帯意見については参考意見とするもの。あくまで、経営戦略として定めるのは市長であるので、市長の方で定める際、皆様から出た意見として取り扱っていくというもの。

【新田委員】市長が1人で判断するものではないので、議会事務局等がかみ砕いて、本件については、今度の議会等で審議するというものか。

【下水道課長】議会の議決事項ではないので、議会に付議されるということはない。ただし、様々な事業別計画があることから、経営戦略の内容については、その事業別計画の一つとして、議会に改正しましたと報告をさせていただくもの。

【新田委員】なぜこの質問したかというのと、オペレーター（戦略実行者）の時に、例えば、下水道事業の組織が一貫するなどの報告を受け、2ページ（3）に「民間活力」云々と出ているが、そのような中で、下水道事業の経営改善をして経費の削減になるのか、改変になるのか。そういうことをするというのをここでは断言できないのではないか。

【下水道課長】現在において民間活力をそのまま導入している部分も既にあるが、全てのものを導入した場合、経費なり、事務費であり、安くなるかというところ

うでもないということ。直接行った方が、経費が安い場合もあるので、現段階においてはまだ、先ほどご指摘にもあったとおり、研究段階、検証段階であるので、今後検討していかなければならない状況にありますので、まだ行っていきますというようには、申し上げる段階ではない。

【上下水道部長】補足であるが、今、新田委員からご質問があった、審議の中で我々の方から二課を一課にという説明もさせていただいて、職員の件に関する事項の部分で、その部分は具体的に経営戦略の見直しには記載していないことから、今、ご意見ということで、今後の投資以外の経費の考え方の部分に、組織の見直しを期待するべきではないか。ということであれば、委員の皆様のご意見として、その方がよろしいということであれば、記載させていただく。

【新田委員】私は、そのようにしろということではなく、例えば、下水道事業としては、こういうことをやりたいのだ。あれをやるのだ。ということを書いてもいいのではないかと。ということです。

【下水道課長】そうなりますと、「今後も図られたい」場合は、「民間活力など導入を検討してほしい」という、委員の方々が、こちら側に対する意見でございますので、それを受けて、私どもの方で検討をしていくということで、やらせていただければ、それでよろしいのかなというようには感じる。

【山田会長】私の方で、聞き取れないところもあったが、新田委員からのご指摘について、1 ページ（3）「投資以外の経費」について、「また、現在行われている使用料徴収業務の包括委託を継続」云々のここの部分を削除した方がよろしいのではないかとというふうに捉えてもよいか。新田委員の趣旨としては、ここの文章の修正をどのようにご提案されるのかの確認である。

【上下水道部長】新田委員のご意見としては、現在、下水道事業を実施している組織が、今年度、見直しが考えられるということで、そのような部分を「投資以外の経費」の部分に入れてはいかがか。というご意見と今、伺ったがよろしいか。

【新田委員】そうははっきりといったほうが良いのかどうか分からないが、このように下水道事業は行っているのだよと。もっと私は、及川部長の発信で行ってよろしいと思うので、そう申したもので。

【山田会長】特に修正なしというように処理をさせていただいてよろしいか。ありがとうございます。議事録には残るので、ご意見を伺ったということで、次回以降の審議に事務局は活用していただきたい。

【熊谷委員】3 付帯意見（2）を読ませていただいた時に「コンパクトシティ化など」、「市の都市政策に積極的な対応を期待する」とあるが、今、市役所前を造っている。あそこに下水管、水道管を敷設するかと思うが、誰が行うのか。

【下水道課長】中心拠点に関しては開発行為となるので、開発者の方で整備を行うこととして、今、こちらの方へ協議を受けている状態。開発行為で、基本的には開発者が下水道の整備を行うもの。

【熊谷委員】出来上がった下水道の施設は、活かされるということか。

【下水道課長】そのようになる。

【熊谷委員】その後の維持管理は、市にお願いしますというものか。

【下水道課長】その通り。

【齋藤委員】今、委員さんからあったそのままであるが、「市の政策に積極的な対応」と書いてあるが、主語が、誰がどうなのか分からないと思う。

【下水道課長】下水道課あるいは下水道担当ということで作成している文書。主語をどのような形で加えることがよろしいものか。

【齋藤委員】政策というのは、都市政策のことなのか。下水道政策のことなのか。

【下水道課長】ここに関しては、都市形成に関しての部分に係ることから、都市政策ということ。

【齋藤委員】それであれば、都市政策ということをきちんと入れて、「都市政策との連携」となるのではないか。下水道が都市政策を行うものではないのではないか。

【上下水道部長】「連携」ということよりは、4回の審議会の審議の中では、下水道に限定したことなく、市全体の都市政策に、市が積極的に主導権を握って進めるのはいかがかというご意見を伺ったことから、このような記載にしたもの。

【山田会長】下水道の計画の上位にあたる都市計画に対して、最初から都市計画の方が上位で被せられるのではなく、下水道整備上の色々な工夫もあるのであろうから、そこをきちんと吸い上げていただくような働きかけが必要ではないかという趣旨で、前回までのお話でご意見を交換させていただいたと思う。文言の整理が必要かもしれないが、都市政策について、積極的にコンパクトシティ化に見合う下水道政策というものに繋がるような、工夫をして欲しいという、そういうご意見があったという認識している。具体的に何か表現として、こうして欲しいというところがあったら、ご指摘いただきたい。

【齋藤委員】いずれ、都市政策と下水道は、一緒になってやるということであって、ここだけ読めば、下水道が引っ張るようにも読めるところもあることから、そういう意味であれば、そのように用語を直していただければなと思う。

【山田会長】事務局いかがか。何か具体的な修正や文言、表現を検討いただきたい。「下水道が牽引することも必要」というのが、少し強い表現であれば、例えば「また、今後の下水道整備については、コンパクトシティ化など、都市形成を下水道が寄与することも考えられることから、市の都市政策に積極的な対応を期待する。」と、修正するのであれば、このような表現程度かと思う。

【下水道課長】承知した。

【水道総務課長】齋藤委員に確認であるが、先ほどの審議で「令和4年」そして「99.6%」のご指摘があったが、3ページ3(1)の中にも、経費回収率の書き方が同じとなっている。前段の方では正確に書くが、後段の方では前段を受けて、大まかな書き方でもよろしいものか。それとも、3ページの方も正確に書いた方がよろしいのか伺う。

【齋藤委員】100%を下回っているという書き方だと、読む人で程度が違ってくるのではないかなと思う。この場で数字を示される方は、ギリギリ100%だということになるし、何も知らないでこの文章だけを見れば、何%であるのかと思うこともあることから、できれば数字については正しい数字というか、そういったものの方が、よろしいのではないかというような意見である。

【山田会長】いつの時点でというのは、このような文書については大事だと思う。丁寧につけ加えることができる部分については、そのように対応いただければ大丈夫である。事務局サイドは、修正意見等についての確認作業はよろしいか。それでは、そろそろまとめ作業に移りたいと思うが、この場での修正についてのご意見があったら、お願いいたします。

【出席委員】（なしの声。）

【山田会長】それでは、ご意見いただいた修正箇所については、内容を大きく変える程度のものではないことから、調整程度の変え方として、この場で休憩をさせていただき、事務局と私、会長ないしは副会長は対面でご在席ですので、修正の確認をして答申書として決定ということで、事務作業を行いたいと思いますが、委員の皆様いかがですか。

【委員一同】異議なし。

【山田会長】それでは、一旦、休憩をさせていただきます。  
（暫時休憩。）

【山田会長】メールにて、修正内容を確認しました。修正した内容について、事務局より説明をお願いします。

【下水道課長】それでは、今回修正しました点についてご説明申し上げます。まず、答申書1ページ1（2）の部分の「経費回収率は現在、100%を下回っているものの改善傾向であることから」という部分につきまして、「令和4年度末における経費回収率は99.6%であり」という形に修正させていただきました。また、次の（3）「投資以外の経費について」の項目の中の一番、最後の行「民間活力の活用を検討されたい。」という部分につきまして、「民間活力の活用内容を検討されたい。」に変えて、修正しております。また、こちらの方で誤字を見つけておりまして、2ページ2（2）1行目にございます「国が示す操出基準」の「くりだす」という部分ですが、手へんではなく糸へんにございます「繰出基準に基づく」に修正させていただいています。最後の3ページ3（1）「また」以降につきまして、「経費回収率は100%を下回っていることから」という部分について、「令和4年度末における経費回収率は99.6%であり」に修正しています。また、同じ（2）の部分「また」以降につきまして、「今後の下水道整備については、コンパクトシティ化など、都市形成を下水道が牽引することも必要と考えられることから、市の政策に積極的な対応を期待する。」という部分につきまして、「また、今後の下水道整備については、コンパクトシティ化など、都市形成を下水道が寄与することも必要と考えられることから、市の都市政策に積極的な対応を期待する。」というように修正しております。

【山田会長】ご意見いただいた内容については、修正となっているかと思いますが、改めまして、修正された答申案について、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

【委員一同】異議なし。

【山田会長】事務局の方は、最終確認としてよろしいか。

【下水道課長】大変申し訳ございません。事務局の方で気づいたのですが、先ほど経費回収率の部分で、1ページ目1(2)の部分「令和4年度末」という記載と、3ページ目3(1)「また、」以降の「令和4年度末」という、この「末」の部分ですが、「末」というものではなく、あくまでも令和4年度における経費回収率ですので、「末」の字を削除させていただきたいと考えております。

【山田会長】正確にということでもありますので、「末」ということで、文言を削除することについて、理解いたしました。これについて委員の皆様、ご質問ございますか。

【委員一同】異議なし。

【山田会長】それでは、今の修正をしていただくということを前提に、答申案については答申書として決定し、滝沢市長に提出したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

【委員一同】異議なし。

【山田会長】ありがとうございます。それでは、これをもって、本日予定された議事を終了させていただきます。この他に、委員の皆様から次回の審議に向けての要望やご意見がございましたら、お願いします。

【熊谷委員】審議会としてなのか分かりませんが、この机上での話し合いだけである。例えば、大釜地区の雨水対策をこう行っていますと説明されても、意味がよくわからない。あるいは、浄水場の中などはどうなっているかも分からないまま、あとは勝手に見てという感じがすることから、次回から、色々と大変ではあると思うが、浄水場の中を見せていただいたり、こんな仕事をしていますよとか、姥屋敷の水源を見せていただいたりすると、ここで話した時には、見えてくるものがあるのではないかと思う。

【上下水道部長】非常に貴重なご意見である。ここ数年、コロナというのもあり、なかなか施設の公開、あるいは、委員さん方に現地を見ていただくということが実施できていなかったことから、来年度以降、そのような機会をできるだけ検討させていただきたい。

【山田会長】是非、現地を確認して、現実的に施設がどう運用されているか、委員の皆様にはご見学いただければと思う。ありがとうございます。

5 その他  
特になし。

6 閉会

この議事録は書記の記載したものであるがその内容が正確であることを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

滝沢市上下水道事業経営審議会

会 長

署名委員

署名委員